

# 競技注意事項

(10月9日～11日：相模原ギオンスタジアム版)

## 1. 規則について

本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 競技者の招集について

- 1) 招集所はAゲートに設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。
- 4) 特別な理由がない限り、招集所の入口で手指、スパイク裏の消毒及びスパイクの厚さ計測を行うこと。
- 5) 招集の際には、ナンバーカード・商標のチェックをする。また、トラック種目出場者は腰ナンバー標識(2枚)を受け取ること。
- 6) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 7) 代理人による点呼は認めない。ただし、フィールド種目とリレー種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場者届」(招集所・大会インフォメーションに用意)を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに、競技者係(招集所)に提出すること。**
- 8) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理する。
- 9) リレー種目は、ラウンドごとにオーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。**
- 10) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻1時間40分前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

## 3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは1名につき2枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。
- 2) すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
- 3) トラック種目出場者は、競技者係(招集所)が配付する写真判定用腰ナンバー標識2枚を両腰の上部、やや後ろにつけること。
- 4) 4×400m出場者には、事前に行うナンバーカード配付の際に、レース用特別ナンバーカードを配付する。
- 5) ナンバーカードの地色、数字の色は次表の通りとする。

部門・種目	ナンバーカード
● 男子1部	オレンジ地×黒数字
● 男子2部・3部	青地×黒数字
● 女子1部・2部	ピンク地×黒数字
● 4×400mR	黄地×黒数字

## 4. 棄権について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は、10月8日(木)18時までは、本連盟HPに掲載をしている不出場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス(s-hatakeyama@kgrr.org)に送信すること。

また、10月8日(木)18時以降に棄権を申し出る場合は、不出場届(ナンバーカード等の事前配付物に5枚同封。不足の場合は大会本部指定の用紙を招集所、または大会インフォメーションに取りに行くこと)に必要事項を記入、押印し競技者係(招集所)に提出すること。

## 5. 競技の抽選・番組編成

- 1) トラック種目のレーン順・フィールド種目の試技順は、プログラム記載通りとする。
- 2) 予選の組み合わせにおいて、成績に基づく順列で同じ組に同一大学所属の競技者が複数入る場合は、ランキングに大きな変動を及ぼさない範囲で他大学所属の競技者と差し替えて、異なる組に入れるよう配慮する。また、決勝のレーン順は主催者が公平に抽選する。
- 3) タイムによる次ラウンドへの進出者(チーム)を決定する時に、最終枠に同記録(0.001秒単位)がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い、進出者(チーム)を決定する。

## 6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(投てき物・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用して練習すること。
- 3) 投てき物に関して、持ち込みを希望する場合は、競技開始の1時間30分前から1時間前までにAゲートにて公式計測員による検査を受け、使用することができる。なお、個人所有のものは、競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みの投てき物は競技終了後、大会インフォメーションにて返却する。

## 7. 競技について

- 1) トラック競技について
  - ① 計時はすべて電気計時(0.01秒)を用いて行う。
  - ② スタートに関する規則(第162条5)の[国内]条項については、適用除外とする。
  - ③ 200mまでの競技は、ラウンドに関わらず、風向きによってバックストレートで実施する場合がある。なお、競技開始時刻の2時間前を目安に決定する。
- 2) 跳躍競技について
  - ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

走高跳		1	2	3	4	5	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは3cm刻みとする			
	男子1部	2.00	2.05	2.08	2.11	2.14				
	男子2部	1.95	2.03	2.06	2.09	2.12				
	女子1部	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74				
棒高跳		1	2	3	4	5	6	7	8	以後、最後の1人になり、優勝者が決まるまでは5cm刻みとする
	男子1部	4.70	4.80	4.90	5.00	5.10	5.15	5.20	5.25	
	男子2部	4.20	4.30	4.40	4.50	4.60	4.70	4.80	4.85	
	女子1部	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	3.85	3.90	3.95	

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ② 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子13m、女子10mとする。
- 3) 男子3部、女子2部について  
ハンマー投のみ、本日程で開催する。順位は、前半3回の試技で決定する。
- 4) コーチングエリアについて  
監督・コーチエリアをメインスタンド・バックスタンド・サイド芝スタンドに設ける。

## 8. 表彰について

- 1) 本大会は表彰式を実施しない。
- 2) 男子1部・2部、女子1部の各種目優勝した競技者は賞状ならびに優勝杯、8位までに入賞した競技者は賞状を授与するので競技終了後に大会インフォメーションへ受け取りに行くこと。その他の表彰物については、賞状等を受け渡す際、大会インフォメーションにて別途指示をする。

## 9. 結果発表と抗議について

- 1) 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンで行う。
- 2) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドがある場合は15分以内)に、大会インフォメーションにある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。その裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書(大会本部に用意)に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機すること。なお、抗議受付窓口は大会インフォメーション(正面玄関前)に設置する。

## 10. ドーピング・コントロール・テスト実施について

### 1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟ドーピング防止規則もしくは日本ドーピング防止規程に基づいて行われる。なお、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿または血液(あるいは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。その際、顔写真付きの本人確認書類が必要となるので、顔写真のついた学生証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを携帯すること。

### 2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療目的の使用に係る除外措置(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、または日本アンチ・ドーピング機構ウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

## 11. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

## 12. 衣類の管理について

- 1) トラック種目出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者で用意する。氏名、大学名、ナンバーを事前に記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等はビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュライン付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。

## 13. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2020年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 競技終了後は、どのラウンドに関わらず、必ずミックスゾーンを通ること。
- 2) 入場規制について  
今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止する。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、ナンバーカードでの規制エリア内への入場は認めない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
スタンド・コーチングエリア 相模原ギオンフィールド	競技役員・選手・チームスタッフ
グラウンド・招集所 ミックスゾーン・雨天走路	競技役員・選手
各諸室	競技役員

- 3) 盗難・紛失について  
主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は大会インフォメーションで保管するが、回収当日の全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する。)

4) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
10 月 9 日(金)	11 : 00	18 : 30
10 月 10 日(土)	8 : 00	17 : 30
10 月 11 日(日)	8 : 00	16 : 00

※開・閉門時刻は厳守のこと。

- 5) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。
- 6) 併せて、今大会新型コロナウイルス対策申し合わせ事項を参照すること。

関東学生陸上競技連盟